

## 2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月13日

上場会社名 寺崎電気産業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6637 URL https://www.terasaki.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 寺崎 泰造  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室室長 (氏名) 那須 修三 TEL 06-6791-2701  
 四半期報告書提出予定日 2023年11月13日 配当支払開始予定日 2023年12月6日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第2四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	23,285	18.2	1,340	143.6	1,878	66.4	1,535	146.7
2023年3月期第2四半期	19,700	10.1	550	35.2	1,128	110.3	622	101.5

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 2,895百万円 (70.8%) 2023年3月期第2四半期 1,695百万円 (581.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	117.88	—
2023年3月期第2四半期	47.77	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第2四半期	63,812	43,323	67.9	3,325.17
2023年3月期	59,943	40,629	67.7	3,114.96

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 43,323百万円 2023年3月期 40,584百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	8.00	—	12.00	20.00
2024年3月期	—	10.00	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	20.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2024年3月期（予想）期末配当金の内訳 普通配当 10円00銭 創業100周年記念配当 10年00銭

### 3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	48,650	9.9	2,890	0.7	3,530	1.4	2,400	2.3	184.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結業績予想の修正については、本日（2023年11月13日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
なお、連結子会社であった寺崎ネルソン株式会社は、2023年9月27日に清算終了いたしました。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	13,030,000株	2023年3月期	13,030,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	1,070株	2023年3月期	1,021株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	13,028,976株	2023年3月期2Q	13,028,979株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述等は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束をする趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予測のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料は、決算発表終了後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(セグメント情報等) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、ウクライナ情勢の長期化や、世界的な金融引き締めが下押し圧力となり、緩やかな成長となりました。

米国では、堅調な個人消費や雇用環境の改善を背景に、景気は堅調に推移しました。欧州の主要国及び英国では、金融引締めやエネルギー価格の高止まり等の影響により、景気は足踏み状態となりました。中国においては、不動産市場の停滞や設備投資の鈍化もみられ、景気は持ち直しの動きが停滞しました。

わが国においては、個人消費やインバウンド需要の増加等により景気は回復基調であるものの、為替の影響やエネルギー価格の高止まりによるインフレの継続により、先行き不透明な状況が続きました。

当社グループを取り巻く経済環境は、国内において、過剰在庫を調整する動きがあるものの、堅調な企業収益もあり、設備投資は底堅く推移しました。海外においては、一部の地域で設備投資に鈍化がみられるものの、脱炭素社会に向けた投資などは継続しており、堅調に推移しました。当社の主要顧客である造船業界においては、鋼材価格や人件費の高騰を受けた船価の高止まりにより、新造船の受注環境は軟調ながらも、LNG運搬船、自動車運搬船及び海上輸送の脱炭素実現に向けた次世代燃料対応船の需要は継続しており、手持ち工事は高い水準を維持しました。半導体や樹脂製品を中心とした部品の供給制約は回復しつつあるものの、エネルギー価格や銅をはじめとする原材料価格が高止まり状態となっており、製品コストへの影響が懸念されます。

このような状況のもと、当第2四半期連結累計期間の売上高は、船舶用システム製品（船舶用配電制御システム等）及び機器製品（低圧遮断器等）が増加したことにより、23,285百万円と前年同期比18.2%の増加となりました。営業利益は、売上高の増加に加え為替が前年同期に比べ円安水準で推移したことにより1,340百万円と前年同期比143.6%の増益、経常利益は、為替レートの変動等の影響を受け1,878百万円と前年同期比66.4%の増益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、法人税等の調整があったことから1,535百万円と前年同期比146.7%の増益となりました。

製品別の売上高は、システム製品（配電制御システム等）が11,678百万円と前年同期比20.5%の増加、機器製品が11,607百万円と前年同期比16.0%の増加となりました。

システム製品の受注高は、前年同期を9.7%下回る16,931百万円となったものの、受注高が売上高を上回ったことにより、受注残高は前連結会計年度末より5,252百万円増加し、36,882百万円となりました。

なお、機器製品は、計画生産を行っているため、上記受注高、受注残高には含めておりません。

当第2四半期連結累計期間におけるセグメント別の経営成績は以下のとおりです。

#### 「日本」

船舶用システム製品は、コンテナ船及び陸電供給システムが増加したこと等により、売上は前年同期と比べ増加しました。

産業用システム製品は、国内におけるグリーンエネルギー関連の発電プラント、海外プラント及びコージェネレーションシステム等の分散型エネルギー関連向けが増加したことにより、売上は前年同期と比べ大幅に増加しました。

メディカルデバイスは、臨床検査機器の一部において在庫調整の動きがあったため、売上は前年同期と比べ減少しました。

エンジニアリング及びライフサイクルサービスは、システム製品における点検及び換装工事並びにブレーカの点検及び更新が堅調に推移したことから、売上は前年同期と比べ増加しました。

以上により、システム製品全体の売上は前年同期と比べ増加しました。

機器製品は、海外においてオセアニア向け及び東アジアの船用市場向けが堅調に推移したほか、国内の設備投資及び船用市場向けが好調を維持したことから、機器製品全体の売上は前年同期と比べ増加しました。

その結果、当セグメントの売上高は11,890百万円と前年同期比14.6%の増加、セグメント利益は、売上高の増加に加え物流コストの改善に努めたこと等により1,222百万円と前年同期比121.6%の増益となりました。

## 「アジア」

船舶用システム製品の売上は、前年同期と比べ大幅に増加しました。

エンジニアリング及びライフサイクルサービスは、移動制限の緩和に伴い修理及び換装工事等が増加したことから、売上は前年同期と比べ増加しました。

機器製品は、マレーシア国内向けが低調に推移したことから、売上は前年同期と比べ減少しました。

その結果、当セグメントの売上高は7,619百万円と前年同期比20.0%の増加、セグメント利益は469百万円と前年同期比53.5%の増益となりました。

## 「ヨーロッパ」

機器製品の売上は、欧州及び英国内向けが堅調に推移したこと並びに中近東の一部で大型案件向けの売上があったこと等により、前年同期と比べ大幅に増加しました。

エンジニアリング及びライフサイクルサービスは、ブレーカの更新工事が減少したものの、船舶向け修理等が増加したことにより、売上は前年同期と比べほぼ横ばいとなりました。

その結果、当セグメントの売上高は3,775百万円と前年同期比26.9%の増加、セグメント利益は205百万円と前年同期比37.9%の増益となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における財政状態は、資産の部では、棚卸資産が前期末比2,519百万円及び受取手形、売掛金及び契約資産が前期末比537百万円それぞれ増加したこと等により、流動資産は前期末比2,583百万円増加し、45,478百万円となりました。固定資産では、有形固定資産が前期末比1,043百万円及び投資有価証券が前期末比224百万円それぞれ増加したこと等により、前期末比1,285百万円増加し、18,333百万円となりました。

その結果、資産合計は前期末比3,868百万円増加し、63,812百万円となりました。

負債の部では、1年内返済予定の長期借入金が前期末比162百万円減少した一方、電子記録債務が前期末比757百万円、支払手形及び買掛金が前期末比407百万円、及び未払費用が前期末比404百万円それぞれ増加したこと等により、流動負債は前期末比1,561百万円増加し、15,626百万円となりました。固定負債では、長期借入金が前期末比275百万円及び繰延税金負債が前期末比149百万円それぞれ減少したこと等により、前期末比386百万円減少し、4,862百万円となりました。

その結果、負債合計は前期末比1,175百万円増加し、20,488百万円となりました。

純資産の部では、為替換算調整勘定が前期末比1,370百万円増加し、加えて、親会社株主に帰属する四半期純利益1,535百万円の計上により利益剰余金が1,379百万円増加したこと等から、純資産合計は前期末比2,693百万円増加し、43,323百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ214百万円減少し、当第2四半期連結会計期間末には11,143百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は1,577百万円(前年同期は378百万円の支出)となりました。これは、主に仕入債務の増加による収入863百万円、及び税金等調整前四半期純利益1,879百万円、棚卸資産の増加による支出2,123百万円、法人税等の支払による支出513百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は1,522百万円(前年同期は713百万円の支出)となりました。これは、主に有形固定資産の取得による支出1,511百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は729百万円(前年同期は622百万円の収入)となりました。これは、主に長期借入金の返済による支出437百万円及び配当金の支払額156百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、第2四半期連結累計期間における業績の推移並びに当社グループを取り巻く市場環境から、2023年5月15日の「2024年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想を変更しております。

詳細につきましては、本日(2023年11月13日)公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	11,357,179	11,143,145
受取手形、売掛金及び契約資産	14,718,820	15,256,311
商品及び製品	6,270,085	7,094,088
仕掛品	4,886,887	6,035,361
原材料及び貯蔵品	3,408,835	3,956,243
その他	2,412,423	2,147,734
貸倒引当金	△159,823	△154,707
流動資産合計	42,894,408	45,478,178
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	9,140,466	10,425,118
減価償却累計額	△5,121,449	△5,352,949
建物及び構築物(純額)	4,019,016	5,072,168
機械装置及び運搬具	7,923,455	8,978,415
減価償却累計額	△6,741,333	△7,119,635
機械装置及び運搬具(純額)	1,182,122	1,858,779
工具、器具及び備品	8,545,378	8,750,859
減価償却累計額	△8,038,773	△8,146,265
工具、器具及び備品(純額)	506,604	604,593
土地	2,700,090	2,700,927
リース資産	2,089,889	2,266,779
減価償却累計額	△490,200	△639,488
リース資産(純額)	1,599,689	1,627,290
建設仮勘定	1,172,960	360,098
有形固定資産合計	11,180,482	12,223,858
無形固定資産		
その他	142,028	144,506
無形固定資産合計	142,028	144,506
投資その他の資産		
投資有価証券	443,870	668,641
退職給付に係る資産	4,610,550	4,585,538
繰延税金資産	454,327	474,424
その他	348,983	368,397
貸倒引当金	△131,621	△131,544
投資その他の資産合計	5,726,110	5,965,456
固定資産合計	17,048,622	18,333,822
資産合計	59,943,031	63,812,000

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,284,168	4,691,566
電子記録債務	4,022,456	4,779,755
短期借入金	480,000	480,000
1年内返済予定の長期借入金	978,000	816,000
未払法人税等	392,298	399,148
未払費用	1,956,196	2,360,265
製品保証引当金	106,943	112,494
その他	1,844,588	1,986,973
流動負債合計	14,064,651	15,626,204
固定負債		
長期借入金	1,512,500	1,237,500
繰延税金負債	1,489,326	1,340,105
退職給付に係る負債	490,471	499,405
その他	1,756,211	1,785,322
固定負債合計	5,248,509	4,862,332
負債合計	19,313,161	20,488,536
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,236,640	1,236,640
資本剰余金	2,244,650	2,244,650
利益剰余金	32,857,864	34,237,310
自己株式	△1,433	△1,513
株主資本合計	36,337,720	37,717,087
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	186,420	350,031
為替換算調整勘定	2,319,781	3,690,626
退職給付に係る調整累計額	1,740,861	1,565,719
その他の包括利益累計額合計	4,247,062	5,606,377
非支配株主持分	45,086	—
純資産合計	40,629,870	43,323,464
負債純資産合計	59,943,031	63,812,000



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	19,700,303	23,285,531
売上原価	14,510,441	17,092,604
売上総利益	5,189,862	6,192,926
販売費及び一般管理費	4,639,617	4,852,685
営業利益	550,244	1,340,241
営業外収益		
受取利息	36,278	80,221
受取配当金	12,095	13,438
為替差益	264,967	636,165
デリバティブ評価益	184,600	—
その他	100,830	81,024
営業外収益合計	598,772	810,849
営業外費用		
支払利息	19,888	44,017
デリバティブ評価損	—	228,253
その他	512	363
営業外費用合計	20,400	272,634
経常利益	1,128,616	1,878,456
特別利益		
固定資産売却益	538	6,082
その他	—	592
特別利益合計	538	6,674
特別損失		
固定資産除却損	20,627	5,582
特別損失合計	20,627	5,582
税金等調整前四半期純利益	1,108,527	1,879,548
法人税、住民税及び事業税	264,460	491,920
法人税等調整額	221,474	△148,239
法人税等合計	485,935	343,681
四半期純利益	622,592	1,535,867
非支配株主に帰属する四半期純利益	162	73
親会社株主に帰属する四半期純利益	622,429	1,535,794

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	622,592	1,535,867
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	39,033	163,610
為替換算調整勘定	1,236,617	1,370,845
退職給付に係る調整額	△202,732	△175,141
その他の包括利益合計	1,072,918	1,359,314
四半期包括利益	1,695,510	2,895,181
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,695,348	2,895,108
非支配株主に係る四半期包括利益	162	73

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,108,527	1,879,548
減価償却費	560,839	686,102
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	8,970	11,601
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△264,580	△229,909
引当金の増減額 (△は減少)	90	△18,025
受取利息及び受取配当金	△48,374	△93,659
支払利息	19,888	44,017
デリバティブ評価損益 (△は益)	△184,600	228,253
為替差損益 (△は益)	225,420	244,660
有形固定資産売却損益 (△は益)	△538	△6,082
売上債権の増減額 (△は増加)	509,532	△51,277
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△3,118,689	△2,123,228
仕入債務の増減額 (△は減少)	915,994	863,436
その他	240,201	605,536
小計	△27,319	2,040,972
利息及び配当金の受取額	48,374	93,659
利息の支払額	△20,379	△43,731
法人税等の支払額	△378,898	△513,425
営業活動によるキャッシュ・フロー	△378,222	1,577,475
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の取得による支出	△2,615	△3,725
有形固定資産の取得による支出	△687,157	△1,511,991
有形固定資産の売却による収入	193	9,478
その他	△24,283	△16,746
投資活動によるキャッシュ・フロー	△713,863	△1,522,984
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	910,000	910,000
短期借入金の返済による支出	△910,000	△910,000
長期借入れによる収入	1,100,000	—
長期借入金の返済による支出	△287,000	△437,000
配当金の支払額	△130,289	△156,347
自己株式の取得による支出	—	△80
非支配株主への配当金の支払額	—	△45,159
その他	△59,958	△90,836
財務活動によるキャッシュ・フロー	622,751	△729,424
現金及び現金同等物に係る換算差額	434,109	460,899
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△35,224	△214,034
現金及び現金同等物の期首残高	11,770,575	11,357,179
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,735,350	11,143,145

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	日本	アジア	ヨーロッパ	合計
売上高				
顧客との契約から生じる収益	10,375,164	6,350,593	2,974,545	19,700,303
外部顧客への売上高	10,375,164	6,350,593	2,974,545	19,700,303
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,185,313	2,252,631	4,389	5,442,334
計	13,560,478	8,603,225	2,978,934	25,142,638
セグメント利益	551,567	305,753	148,970	1,006,292

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,006,292
セグメント間取引消去	29,539
全社費用(注)	△485,586
四半期連結損益計算書の営業利益	550,244

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## II 当第2四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報  
(単位:千円)

	日本	アジア	ヨーロッパ	合計
売上高				
顧客との契約から生じる収益	11,890,507	7,619,990	3,775,033	23,285,531
外部顧客への売上高	11,890,507	7,619,990	3,775,033	23,285,531
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,946,824	2,444,686	8,351	6,399,862
計	15,837,331	10,064,677	3,783,384	29,685,393
セグメント利益	1,222,230	469,464	205,362	1,897,057

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,897,057
セグメント間取引消去	13,195
全社費用(注)	△570,010
四半期連結損益計算書の営業利益	1,340,241

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。